

えぼっくだより



HP



Facebook

2023年12月発行
社会福祉法人
えぼっく
広報委員会 No.1

2023年も大変お世話になりました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり、えぼっくでも、コロナ禍以前に行っていた行事や活動を再開や新たに取り組みを開始した年でもありました。

6月24日には、法人の全役職員を対象に研修会と懇親会を行いました。研修では顧問弁護士の祖母井里重子先生による、「虐待の『芽』を摘むためには」とのテーマで虐待防止研修を行いました。普段の支援者目線からの虐待防止ではなく、司法の目線からの虐待防止を取り上げていただくことで、新鮮な目線で虐待防止についての取り組むべきことが見えてきたのではと感じています。また職員懇親会は約4年ぶりの開催で、役職員、職員のお子さんなど総勢93名で盛大に開催しました。職員懇親会では職員の永年勤続表彰を行っていましたが、コロナで開催できなかった期間に5年、10年を迎えた職員も表彰を行いました。



また、9月16日にはホホエムの敷地内で、こちらも4年ぶりのえぼフェスタを開催しました。今回は、ご当地アイドルやピエロのぐっちゃんのステージショー、マジック・ジャグリングショーをはじめ、くるるの杜様、長沼ハイジ牧場様、キッチンカーのモチとモフ様にも出店いただき、これまでのえぼフェスタの内容を一新した形で開催しました。ご家族連れをはじめ北広島市民の皆様にも、たくさんご参加いただき、えぼフェスタが地域の中の一つの行事として根付くきっかけになったのではないかと思います。

来年も地域と一体となったえぼフェスタを企画していきたいと思っています。



他に、えぼっくで実施している、フードバンクぼすこの活動が芽ひらいて東光ストア北広島店様大谷地店様、スーパーアークス大曲店様・平岡店様が店内の一角でフードドライブにご協力いただいたり、エスコンフィールド北海道様にもフードドライブのご協力いただき、フードドライブの活動も地域の中で広がりを見せるようになってきました。

2024年も引き続き、えぼっくは地域に根ざした社会福祉法人として、地域の福祉課題に目を向けながら、フットワーク軽く活動を続けていきます。皆様引き続きよろしくお願いいたします。

※えぼっくの2024年カレンダーを絶賛販売中ですので、ぜひともお買い求めください。



ホホエム



ホホエムは、北広島市共栄で、生活介護（定員 30 名）、就労継続支援 B 型（定員 10 名）、短期入所（定員 7 名）、地域生活支援事業（日中一時支援）、認定就労訓練事業の提供を行っています。

2023 年は、「利用者様の得意なことを生かす」ということに力を入れてきました。利用者様の中には、絵を書くのが得意な方、色を塗るのが得意な方、張り子や小物作りなどが得意な方など、さまざまな方がいらっしゃいます。その得意なことをより伸ばしていくために、制作までの工程表の作成、個別の作業場の設置、自身で使用する作業道具の準備などを行ってきました。ここで作られた製品は、れざみに商品棚を作って陳列しての販売や地域イベントには、利用者様と一緒に参加し、自分が制作した商品を自分の手でお客様に届けてきました。

れざみでは、食事やドリンクも一新し、調理の工程もわかりやすくし、そこで働く利用者様が、調理やドリンク作り接客など、さまざまな業務に携われる体制にリニューアルしました。

現在、製品制作のため、工程表や個別の作業場を作り、利用者様と一緒に制作に取り組んでいますが、まだ、すべての利用者様が制作に携われていないことが課題となっています。製品制作の工程を今一度見直し、ラッピングや値札貼りなど、工程を細分化させ、すべての利用者様が製品制作に関わっていただき、また製品の質や出来栄えにもこだわり、お客様に末永くご利用していただくことを考えた製品制作を行っています。

れざみでは、新規のお客様獲得や来店頻度をあげることが課題となっています。沢山の方々に利用していただくためにも、ポスティングや地域イベントに利用者様と一緒に参加していき、れざみを知っていただく取り組みを行っていきたいと思います。

ホホエム管理者 中谷大輔



地域生活支援センター

地域生活支援センターは北広島市・南幌町・恵庭市において地域生活支援を行う拠点として、共同生活援助「ともっと」、居宅介護等支援「てとる」、特定相談・障がい児相談支援「あざれあ」を併設しているセンターです。

また、利用相談窓口を設置し、法人内の障がい福祉サービスの新規の利用相談や地域の方々からの短期入所等を含めた利用希望者からのサービスの調整業務も行っています。

今年、「グループホームきらっと」は、新しく4名増えて、グループホームの利用者様は52名になりました。今回はグループホームで、この1年間、どのような活動をしてきたのかをご紹介します。

- 1月 初詣で一年のお願いごとをしました。
- 2月 バレンタインデーにチョコレートを食べました。
- 3月 きらっとの新しい利用者様と一緒にココスでお食事をしました。
- 4月 エスコンフィールドへ見学に行きました。
- 5月 栗山へお花見に行きました。
今年も綺麗な桜を見ることができました。
- 6月 以前にグループホームで過ごされていた方のお墓参りに行きました。
- 7月 2号館の利用者様の誕生日祝いにバイキングへ行きました。
- 8月 ともっとの駐車場を使用して、大花火大会をしました。
- 9月 えぼフェスタ参加後、敷地内でバーベキュー大会行いました。
- 10月 平岡樹芸センター「みどりーむ」に行きました。
綺麗な紅葉を楽しみました。
- 11月 ホットケーキ作りしました。チョコレートや蜂蜜をかけて楽しみました。
- 12月 各ホームでクリスマスパーティーを行いました。



地域生活支援センターともっとでは、約4年間にわたる新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛生活の期間を終え、2023年は様々な行事を企画し、できるだけ多くの利用者様に生活を楽しんで頂くことを目標として取り組みました。今年3月開業の新球場エスコンフィールド北海道と、周辺エリアを含めた北海道ボールパークF ビレッジへの見学やグランピング、宿泊を伴う旅行、4年ぶりに開催された「えぼフェスタ」への参加など、多くの行事を楽しんで頂くことができました。

余暇支援のほかにも、日々の健康管理や防災訓練を重ね、安心してグループホームで生活できる環境を今後も整備していきたいと思っております。

ほこしあ

ほこしあは北広島市輝美町で、認知症対応型共同生活介護（高齢者グループホーム）2ユニット（18名定員）で、家庭的な雰囲気と地域との交流のもと、自立した日常生活を送ることを目的とした事業です。

毎日、掃除や洗濯など入居者と一緒にいき、またゲームやカラオケ、散歩を楽しまれたりと、何気ない日常生活をのんびり過ごされたりしております。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長きにわたり自粛生活を送っておりましたが、それも緩和され面会や外出などもふえ、にぎやかさが戻りつつあります。ほこしあでは1年を通し季節の行事を行っておりますが、今回は夏の大イベント「夏祭り」の様子と、高齢者の大イベント「敬老祝賀会」の様子をお届けいたします。

ほこしあ管理者 加藤真姫

夏祭り&七夕祭り



お祭りでは、出店の雰囲気を味わいながら、楽しく過ごされてきました。

七夕では皆さん悩みながらも思い思いの願い事を短冊へ書きました。

敬老祝賀会

今年も皆さん元気に敬老の日を迎える事が出来ました！

皆さんの長寿を願い、心を込めて祝い膳を作りました。



ハニカム



ハニカムは、南幌町で生活介護（定員 25 名）、地域生活支援事業（日中一時支援）、認定就労訓練事業（定員 5 名）の提供を行っております。生活介護では、紙すき作業やレジンアクセサリー・コースター等の小物作り、イラスト制作、そして夏には南幌町の花卉農家様より依頼を受けて水苔を詰める作業を行いました。今年は特に紙すき作業に力を入れ、手すき紙を加工した作品作りにも取り組みました。

ハニカム管理者 阿部芳久

紙すき作業～ポチ袋ができるまで

まず、牛乳パックをハサミで切り、鍋で煮ます。
その後、牛乳パックについているラミネートを剥がし、紙ちぎり作業に取り組みます。

このとき、ちぎった紙を小さな穴の開いた容器に入れるようにすることで、容器の穴がちぎる際の紙の大きさの目安となり、次工程でちぎった紙をミキサーにかける時にスムーズに行うことができます。



ミキサーを使い、ちぎった紙を水とかきまぜます。かきまぜてドロドロになったちぎり紙を手すきの型に流し入れ、乾燥させるとあっという間に手すき紙になります！



完成した手すき紙をポチ袋の形に加工し、絵具で色鮮やかに着色したらオリジナルポチ袋の完成！

同様に紙すき作業でははがきやメモ帳の制作も行っています。



日々制作作業を行うことで発想力が磨かれ、多種多様な作品が生まれています。作品はホホエム内にある喫茶れざみで販売していますので、近くにお立ち寄りの際はぜひお買い求めください！



八丁平共生型センターはっち

生活介護「ろぐらん」と、ご自宅に訪問してケアを行う居宅介護「らんらん」があります。

はっちは室蘭市の八丁平地区にあり、旧八丁平町会館を室蘭市の補助を受けて改修して、2012年にオープンしました。2019年10月に、えぼっくの一員となり、今年で4年が経ちました。生活介護では入浴サービスを提供しております。増築部分には地域の皆さんに気軽に利用していただけるように共生スペースが設けられており、地域に根差した活動に、これからも取り組んでいきたいと考えています。

らんらん管理者 吉村敏也



● ろぐらんで今年、力を入れたことは ●

「ろぐらん」では、重症心身障がいの方、医療ケアが必要な方が多く利用されています。最近ニーズの多様化とともに、さまざまな特性や個性のある発達障がいの方も一緒に活動しております。今年度、自閉症スペクトラム障がいの方への支援について、少しだけ力を入れてみました。

～～大きい声、大きな動きは控える～～過度な干渉は控える～～

これまでとむしろ逆なのでは？～これって支援？から始まりました。 ※最低限のルールは必要。

例えば

- ひとりで音楽を聴いている～そのまま ←ひとりが落ち着く
- 毎日同じことをしている～悪いことではない ←毎日同じが落ち着く
- 混乱・パニック、自傷～どうしたの？大丈夫？？ ←すぐには駆け寄らず、いつもと違う何かを探す
温かく無視する（不適切な行動に対し）

～～その結果、自由に過ごせる・安心して過ごせる環境づくりにつながりました！～～

ろぐらん管理者 吉崎理映



相談室ますとびいー

相談室ますとびいーは、札幌市から委託を受けて、札幌市障がい者相談支援事業として障がいのある方や、ご家族、地域の方たちの様々な困りごとをお聞きし、解決方法を一緒に探す支援を行っています。相談は札幌市厚別区にお住まいの方を中心に行っており、現在、480名の方が登録され、ご利用いただいています。相談内容としては、福祉サービスの利用についてや日常生活全般のことなど、様々なご相談をお受けしています。

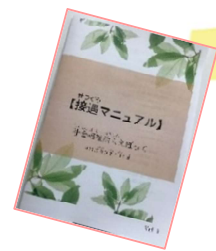
今年、新しい相談員が2名入り、現在、社会福祉士などの資格を持った9名の相談員が働いています。日々様々なご相談をお受けする中で、相談員一人一人のスキルアップを目標に今年度は内部での研修の充実を図りました。相談員同士でグループワークをしたり、防災に関する研修にも力を入れ、今年も4月と10月に研修を行い、防災の備蓄品の点検や大雪の時や停電の時にどのような行動をとるかなどを相談員同士で話し合ったり、災害伝言ダイヤルの使い方を練習しました。災害伝言ダイヤルは1年に1度練習をし、いざというときにどの相談員も使えるようにしています。興味のある方は、災害用伝言ダイヤルの体験利用ができる日がありますので、確認して一度は体験頂けたらと思います。今後も相談室ますとびいーでは、相談者の方が安心して相談できる厚別区の相談窓口として、相談員のレベルアップを図りながら活動していきたいと思っています。お困りごとがありましたら、ぜひご活用下さい。

相談室ますとびいー管理者 松島綾子

<障害者虐待防止研修の様子>



えぽっくの 委員会活動



えぽっくには、4つの委員会活動があります。「虐待防止・身体拘束ゼロ委員会」は障がい者虐待防止の更なる推進のため従業者へ定期的な研修実施、事故報告・ヒヤリハット報告の検証を通じ虐待防止のための対策をしています。「感染症委員会」は利用者様及び職員の感染防止を第一に、万が一感染症が発生した場合の適切な対応について協議し感染拡大を防ぎます。感染マニュアル作成の他、防護服やグローブの着用、吐物の処理に関する研修も定期的に行っています。「えパレット委員会」は法人の若手・中堅職員が中心となり、職場環境の改善や業務改善について取り組みます。委員会名は造語で、「えぽっく」に「パレット」で色付けをしようという意味合いでネーミングされました。今年「接遇マニュアル」が完成し、全職員へ配布します。そして「広報委員会」では、紙面やSNSを通じ法人の様々な情報発信の他、利用者様の制作物の販売や管理も行っています。

きたひろしま暮らしサポートセンターぽると

生活困窮者自立支援法に基づき、北広島市から委託を受け開設している、北広島市民への自立相談支援を行う事業所で、社会福祉等の資格をもった相談員が対応しています。

家賃が払えない
お金がない…



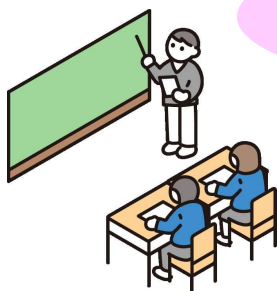
相談無料・秘密厳守



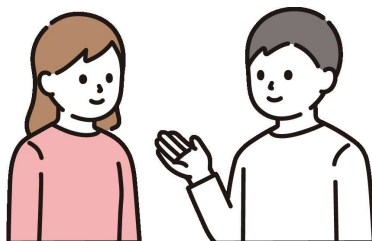
仕事を探している・
仕事をうまくできるか心配…



学習する機会がほしい…



お悩み事 の 解決のために
一緒に考えます



いろんな事が心配…
家族がひきこもっている



また、「フードバンクほすこ」にてフードドライブ活動をしており、多くの方々にご協力頂きながら、お困りの方へ食料支援をしています。

フードドライブ活動で頂いた食料は、生活にお困りの方にお渡ししたり、学習支援事業「りらほ」の中学生様の力になるようにと提供したり、その他応援物資として福祉施設や外国人の方にもお渡しさせて頂いています。食料を受け取った方からは、ご協力頂いている皆さんの優しさが多くの人を支えています。私どもも多くの方々の支えとなれるよう精進して参ります。

きたひろしま暮らしサポートセンターぽると主任相談支援員 酒井美弥

きたひろしま暮らしサポートセンターぽると
社会福祉法人えぽっく・フードバンクほすこ

Tel : 011-887-6480

北広島市栄町 1 丁目 5-2 北広島エルフィンビル 2 階